

荒尾駅周辺地区バリアフリー基本構想【概要版】

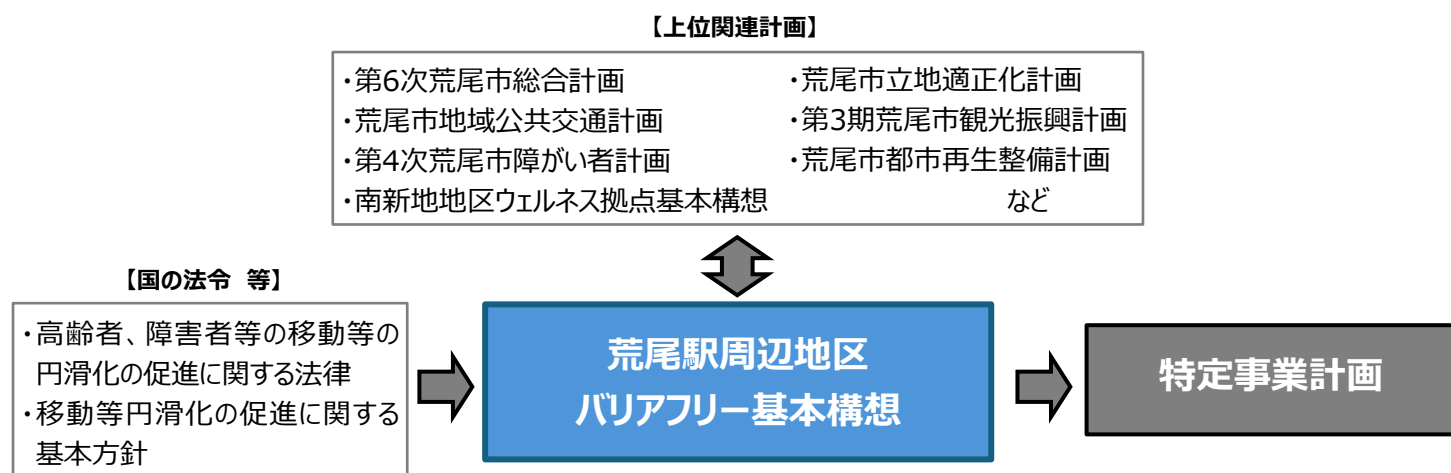
バリアフリーの位置付けと基本理念

◆ 構想策定の背景と目的

荒尾駅周辺が目指す、「人幸増加」・「交流・にぎわい創出」・「利便性向上」機能を有した多世代の市民や来訪者が集まる拠点形成に向けては、あらゆる人が円滑に、安全に移動できる環境を形成することが必要です。そのために、バリアフリー基本構想を策定し、荒尾駅周辺の一体的なバリアフリー化を進めていきます。

◆ 構想の位置付け

本構想は、まちづくり、交通、福祉等に関する上位関連計画と連携し、バリアフリー化を重点的かつ一体的に促進するための指針を示すものです。



理念

駅周辺の「人幸増加」・「交流・にぎわい創出」・「利便性向上」の土台を形成

基本方針

- 中心拠点である荒尾駅を含む荒尾駅周辺地区をバリアフリー化し、だれもが安心して移動できる地区を目指す
- 荒尾駅・あらお海陽スマートタウン・中心市街地・市役所を一体として、滞在快適性、回遊性の向上を目指す

重点整備地区・生活関連施設・生活関連経路の設定

重点整備地区・生活関連施設・生活関連経路について、設定要件及び市民のニーズを踏まえて設定します。

重点整備地区の設定

- ・ バリアフリー化を促進する荒尾駅から半径1,000m以内の範囲
- ・ あらお海陽スマートタウンを含む滞在快適性等向上区域に、道路や鉄道等地形地物を考慮して地区を設定

生活関連施設の設定

- ・ 生活関連施設は荒尾駅からの徒歩圏に立地する施設
- ・ 常に多数の人が利用する施設、高齢者・障がい者等の利用が多い施設であり、市民のニーズを踏まえて設定

生活関連経路の設定

- ・ 生活関連経路はより多くの人が利用する経路
- ・ 生活関連施設相互のネットワークを確保する経路を市民のニーズを踏まえて設定



重点整備地区：重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進する地区

生活関連施設：高齢者、障がい者等の多様な来訪者が利用するバリアフリー化の対象とする施設

生活関連経路：生活関連施設相互間を繋ぐバリアフリー化の対象とする経路

特定事業：バリアフリー法第2条で定める6つの事業とソフト対策に関する事業

特定事業計画：各事業者がバリアフリー基本構想で定めた特定事業に基づき作成する事業計画

重点整備地区におけるバリアフリー化に向けた主な取り組み

個別の特定事業ごとに対応方針を検討し、各事業者が作成する特定事業計画を踏まえてバリアフリー化に向けた整備を実施していきます。

◆ 鉄道駅

JR荒尾駅

- ・ 駅構内にエレベーターの設置
- ・ 視覚障がい者誘導用ブロックの設置・改良
- ・ 手すりの設置
- ・ 待合室のベンチの充実
- ・ オストメイト対応等多機能トイレの整備

JR荒尾駅駅前広場

- ・ 案内板の改良・音声案内の整備
- ・ エスコートゾーンの設置
- ・ 支障物の移設・撤去

◆ 建築物

荒尾市役所

- ・ 照明の確保
- ・ 視覚障がい者誘導用ブロックの改良
- ・ 案内板の改良
- ・ 段差の解消

◆ 路外駐車場

プロログ広場

- ・ JR荒尾駅駅前広場の再整備と合わせて駐輪場も含めた駐車場内の安全な通行空間の確保

◆ 道路

市道荒尾駅停車場線 等

- ・ 舗装等の改良
- ・ 視覚障がい者誘導用ブロックの整備
- ・ 歩行空間の確保
- ・ 波打ち歩道の部分的解消

◆ 都市公園

境崎公園 等

- ・ JR荒尾駅の改修やあらお海陽スマートタウンの整備に合わせたバリアフリー化の推進

◆ 交通安全

主要な交差点

- ・ 薄い箇所の横断歩道の引き直し

※個別の事業内容は本編をご覧ください

心のバリアフリー化の推進

◆ 心のバリアフリーに関する課題

障がいや障がい者に対する差別や偏見といった心のバリアを取り除くためには、本市に暮らす全ての人の障がいに対する理解を深める必要があり、障がいについての正しい知識の普及啓発により理解の促進を図っていかねばなりません。

◆ 対応方針

第4次荒尾市障がい者計画に基づき、啓発・広報活動を行い、障がいに関する理解促進を図ります。

◆ 主な取り組み

- ・ 学校におけるバリアフリーに関する指導等の実施
- ・ バリアフリー、ユニバーサルデザインに関する広報啓発活動の実施



まち歩き点検の様子



出前授業の様子

バリアフリー化の推進に向けて

個別事業の推進にあたっては、各事業者が特定事業計画を作成し、バリアフリー事業を実施することとしますが、各事業の状況・進捗の確認等を行うことが重要であり、こうした進捗管理を庁内担当部局（都市計画課、総合政策課、福祉課、土木課等）で進めていきます。また、本構想の改訂を行うことが必要になった場合は、会議体の設立等を含め、改めて検討します。

理念

駅周辺の「人幸増加」・「交流・にぎわい創出」・「利便性向上」の土台を形成

